

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00～17:00)
------------------	-----	-------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
-------------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	3		12

前回の改善計画	定期的な、職員間及び職員とケアマネ間で話し合いの機会を作り、情報共有を図っていく。また、家族からの要望を聞く機会を設けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前に本人や家族から情報をもらい、初期支援について話をする機会を増やすことで、サービスの提供がスムーズにできるようになった。しかし、まだ情報が少なかったり、家族からの要望に十分に対応できていなかったことも多かった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	2		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	7	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	3		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝、夕の申し送りを行う事で、利用者のケアやサービス提供などの情報共有をすることができている。送迎中や訪問時など、本人様と落ち着いて話ができる際にしっかり要望を伺うことができ、そこから他職員、ケアマネージャーに報告することで、対応、支援を行う事が出来ている。また、初めての利用の際には同性職員で対応するなどの配慮を行う事が出来た。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用者様の情報が少ないことが多く、情報共有ができていないことがある。職員間や、職員とケアマネージャー間での情報のやり取りがうまくいっていないことがあった。また、利用開始前に職員が家族と会う機会がなく、要望や情報を十分把握できていない場合があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始前に職員、ケアマネージャー間で情報共有できるように会議などを行う。利用者、家族からの要望を共有できるように会議などを行い、また、利用開始時のケアプランは印刷し各職員が確認できるようにする。介護記録の記入、朝、夕の申し送り、月1回のフロア会議などを徹底し、各職員が情報把握の共有化に努めるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00~17:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	6		12

## 前回の改善計画

担当職員の交代も行いケアプランを把握できるようなやり方を行う。また、目標に向けての長期的な取り組みが出来るような体制を考えていく。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

利用者及び、家族の意向を十分把握しフロア会議やモニタリングを通して、担当以外の職員がケアプランの確認などを行うことで、利用者のニーズを把握することができた。また、記録をしっかりと記入することで利用者の日々の様子などを詳しく知ることができるようになった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4	5	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	5		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	2	8		12

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

朝、夕の申し送り以外にも、月1回のモニタリングや会議を行う事で情報共有に努めている。各担当をしっかりと決める事で、ケアプランを確認してもらい、月1回のモニタリングや会議などで意見交換がしやすくなった。また、記録などをしっかりと記入することで振り返りなどに活かせるようになった。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

自分の担当以外の利用者のケアプランの把握ができていない。担当をほとんど変更していないため、他担当のケアプランを見る機会がほとんどない。普段の業務に追われてケアプランなどの情報を確認する時間がなかなか取れない。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

担当以外がケアプランの把握ができるようにするために、1回/年程度担当の入れ替えを行い、ケアプラン、モニタリングの把握に努めるようにする。また、ケアプランの確認、把握ができるよう、業務の見直し、話し合いをする機会を作るなどの体制を考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00～17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		7	5		12

前回の改善計画	家族ともう少し話をする機会を作り、自宅での生活や以前の暮らしについて情報を引き出せるようにしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的に会うことができる家族とは、普段の様子やこれからのことなど色々話をする機会を設けるように心がけて出来ていたと思う。ただ、あまり来訪されない家族については、ほとんど話をする事ができなかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	4	6	1	12
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10			12
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	5	5		12
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	7	1		12
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	7	3		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の状況や体調に合わせた介助や声掛け、サービスの変更を行っている。普段から職員同士で利用者の体調などの申し送りをする事で、変化があった場合はすぐに対応できている。また、体調不良などでサービス変更の場合は、ケアマネージャーを通して家族様などへ連絡し、サービスの変更なども臨機応変に行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の声にならない声を聞き出せておらず、体調の変化などに即時対応できていない。日々の業務に追われてしまい、利用者やゆっくり話をする機会を設ける事ができていない。また、職員同士も情報共有について考え方が異なり、うまく伝わらないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族と直接話をする機会が少ないので、月1回のサービス担当者会議に職員も参加しフロアでの様子を伝え、家族からの要望や情報などを聞けるようにしていく。また、その際に様子を伝えられるようにするため、しっかり利用者や話をする機会を作り会話や様子などを記録に残していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
---------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2	2	5	3	12

前回の改善計画	利用者の地域との関わり(町内会、老人クラブなど)がどのようなものがあったのか把握に努め、必要な人にはできるだけ継続できるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規の利用者には初期支援の段階で地域との関わりについてできるだけ把握して継続できるように心掛けた。利用中の方については、引き続き家族様などから情報を収集して、利用できそうなものについてはケアプランに組み込むなど対応している。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	4	2	12
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	4	1	12
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	4	1	12
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ボランティアによる行事への参加やさわやか収集などの地域資源の活用など利用者のニーズに合わせた支援を行っている。サービス利用時に、色々お話ししその中からニーズに合った支援を行い、また、家族様とは連絡帳を通して情報のやり取りを行い、自宅での様子などの情報を確認している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の地域との関わりや、これまでの生活スタイルなどの情報の把握が難しい。独居の場合、今までの生活スタイルや地域との関わりを確認する方法があまりなく、家族も知らないことが多い。また、職員が利用者と打ち解けて話をする機会が十分とれない状況にある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始時、担当になっているケアマネージャーや家族から今までの地域資源の活用や生活スタイルなどを把握できるように話をしていく。活用している地域資源がある場合は継続できるように配慮し、利用中に必要なことが増えた場合は、利用者、家族、ケアマネージャー、職員などと話し合い地域資源の活用に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2	8	2		12

前回の改善計画	利用者のニーズなどを話し合いで見極め、適切な支援に努めていく。
---------	---------------------------------

前回の改善計画に対する取組み結果	朝、夕の申し送りを定期的に行う事によって情報共有できるようになり、支援に活かせることができるようになった。また、記録についてもしっかり記入することを意識することで日々の状態の変化などを確認でき、臨機応変に対応することができた。しかし、地域資源の把握が難しいこと、また、本人との関り、意向もあり対応が難しい。
------------------	---

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	4	1	12
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7			11
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	2		12
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者に合わせてサービス提供を行っており、日々の状態や変化について記録として残して適切に支援を行っている。また、しっかり記録や申し送りを行い、朝、夕の申し送りなどで情報共有をすることで臨機応変にサービスの変更を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を活用した支援が十分できていない。 地域資源について職員が十分に把握、理解していないため、サービスに組み込むことができていない。 利用者と家族の意向が違っている場合が多く適切なサービスを提供できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者のニーズに合わせてサービスの提供や変更については概ね出来ているため、引き続き継続していく。ただ、変更についての申し送りに対して情報共有できていない事や、利用者、家族のニーズに合わせた支援についてはまだ不十分なため、ケアマネージャー、職員間で申し送りや会議をしっかりと行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00～17:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
----------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		3	7	2	12

前回の改善計画	勤務や人員配置などを見直し、各人のスキルアップに繋がるような研修などに参加できるようにしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員配置などを見直し、研修に参加できるように配慮を行ったが、まだまだ足りないと思う。また、多職種との連携や、地域の各種機関とのつながりも薄いので、もう少し活用できるようにしていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		2	4	5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	3	7	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2	1	3	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	5	2	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
体験学習の学生や同施設の他事業所の利用者が来られた際にはしっかり対応できている。また、オレンジプラスカフェなどに参加した際には、他の地域の方との交流を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
職員体制に余裕がなく、他の自治体や各種機関、地域包括支援センターなどで行う会議などにはほとんど参加できていない。また、他機関について、会議やイベントなどの日程、場所などがほとんど伝わっていないことや、人員不足や日々の業務で参加が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
体験学習の受け入れやオレンジプラスカフェによる地域の方との交流は行っているので、引き続き実施していきたい。 他のサービス機関や地域包括支援センター、自治体などとの会議への参加や繋がりについては、ほとんどできていない状態なので、ケアマネージャーや他職種連携による会議やイベントの日程などの情報を共有して参加できるようにしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

7. 運営	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
-------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	4	6		12

前回の改善計画	職員間での話し合いを増やし、今後の事業所のあり方、運営について話し合いをして、職員の運営意識の向上に努めていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	月1回のフロア会議や定期的な申し送りの中で職員同士の話をする機会を作り、意見交換することができたと思う。しかし、日々の運営をしていくのに精一杯で、目標とか経営意識を持つまでには至っていない。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	4	6		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8	4		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		2	7	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1		6	3	10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
利用者や家族からの要望を受け、各職種間で申し送りを行い臨機応変に対応できている。職場の改善点やあり方について、フロア会議などで意見を言うことができ、それを反映できるように努力している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
事業所としてのあり方や、運営方針などについて明確になっていない。フロア会議などでは、業務や利用者について話す事が多くなっており、上記の件について職員同士で話し合う機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所としてのあり方や運営方針、職員間の意見交換などをフロア会議で話し合いができるよう機会を作っていく。そして、運営方針や目標についてまとめて全員が共通認識のもとに目標に向かって努力していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00～17:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
-----------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	2	8	1	12

前回の改善計画	勤務体制の見直しを行い、外部研修へも行けるように努力する。また、職員のスキルアップをめざしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内研修については、勤務体制を見直すことで参加できるようにしており、外部の研修へも徐々に行けるようになってきている。しかし、研修参加への機会は少なく、スキルアップに合わせた研修に参加できるような環境にしていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	4	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	6	3	12
③	地域連絡会に参加していますか			3	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	4	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設内研修については、必ず1名は参加できるようにしている。 リスクマネジメントについては、ヒヤリハットや事故報告書を元に職員同士で話し合うことでリスク管理を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
人員体制や業務に追われて参加する時間が作りにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修やスキルアップにつながる研修に行けるようにするため、勤務体制の見直しなどを行っていく。また、各職員の面談などを行い、そのようなスキルアップをしていくための意識向上に努めるとともに、研修に、参加できるように調整を行っていく。	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月1日 (16:00～17:00)
------------------	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	藤吉隆志 阿部達郎 長縄智嘉司 春田智 高木貴史 大久保幸子 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 赤津杏咲
--------------	------	--

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3	8	1		12

前回の改善計画	共同生活室で記録をとっても、他人の目に触れないようにファイルを閉じるとか棚に入れるとかの措置を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員それぞれが意識するようになってきたため、個人情報の取り扱いもできるようになってきた。しかし、まだ不用意な部分も一部に見受けられるため、徹底を図っていきたい。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	9	3			12
② 虐待は行われていない	9	3			12
③ プライバシーが守られている	5	7			12
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	4	1	9
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	6	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待は行っていない。プライバシーについても記録などを事務所で保管するなど配慮が出来る。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
一部に利用者へ配慮が足らなくて声掛けをしてしまう事がある。成年後見制度については、利用している利用者がおらず制度を理解していない職員が見受けられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録物などの保管については引き続き、事務所内で保管するようにし整理整頓に努めている。身体拘束、虐待、プライバシーについてはフロア会議などで定期的に意見交換を行い、各職員間の基準の統一を図って介助に役立てていく。	